2019/4/30 けやきコミセン ぱそこん倶楽部 学習会テキスト

# 「段落」と「ページ」の修飾

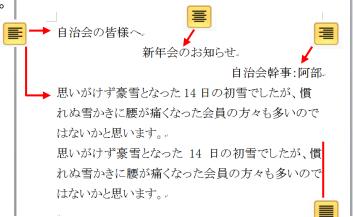
段落の修飾を理解すると、一味違う文書が作れます。またヘッダー、 フッター、透かしなどページの修飾でビジネスにも使えるプロの技 を覚えましょう。

段落とは「一つの主題をもってまとまった文の部分」で ENTER ボタンを押すと、行が変わり新しい段落が始まります。

ワード画面の → マークのあるところが段落の切れ目です。行は変えたいが段落は変えたくない場合は Shift と ENTER を同時に押します( → マークになります)。注: ◆ を押すと改行マークが出ます

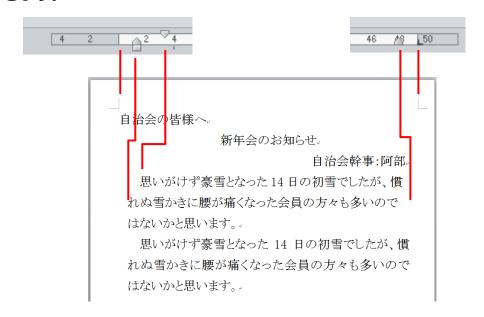
- 1. 段落単位で設定される修飾
- ①左揃え、中央揃え、右揃え、両端揃え 対象段落の中のどこかにカーソルを移動させて、ホーム→段落の ■ ■ ■ ■をクリックする。

両端揃えは一見 左揃えとの違いが良くわかりませんが、右端の 文字の位置を 1 文字分以下の単位で微調整し、右端をぴたりとそ ろえてくれます。



#### ②インデント

段落の左端、右端を設定します。また第 1 行だけを一文字下げる・・などのスタイルを設定します。余白もこのマークで設定できます。

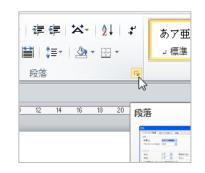


## ③行間の調整

普段はあまり意識することはありませんが、大きな文字にした時に行間が広すぎたり、たった 1 行のためにページが増えてしまったような時に行間をもう少し詰めたいと思うことがあります。

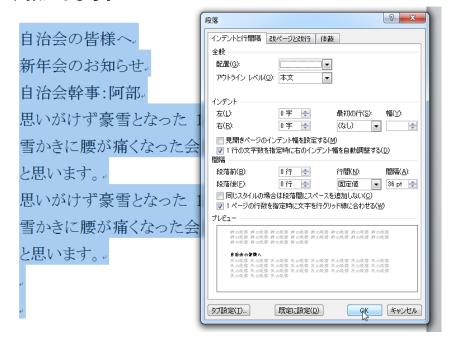
行間隔の変更:

- ・直したい段落の中にカーソルを移動 させる(複数の段落の場合は対象段落 を全て選択)。
- ホームー段落の右下ある クをクリックする。



Page 1/3

・ダイアログの「インデントと行間隔」の中の「間隔」の「行間」を「固定値」に、「間隔」を文字の大きさの 1.2~2.0 倍程度のポイント数にします。



文字と同じ間隔 思いがけず豪雪 慣れぬ雪かきに 会員の方々も多 文字の 1.5 倍の間隔 思いがけず豪雪と 慣れぬ雪かきに腰 会員の方々も多い

文字の<u>2</u>倍の間隔 思いがけず豪雪 慣れぬ雪かきに

会員の方々も多い

同じ倍数でも、フォントの種類により多少間隔が異なります。

2. ページ単位で設定するもの

ヘッダー、フッター、透かしがあります。

文書名やページなどを設定すると、各ページに自動的に入ります。このテキストの右上欄外がヘッダー、中央下欄外がフッターです。

① フッター(ページを振るのに使います)

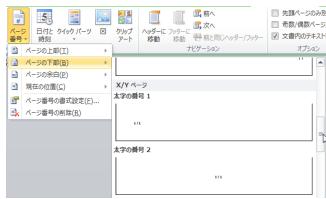
- 挿入一ヘッダーとフッター のフッターを クリック
- ページ 番号・ペッダーと メター

- ・フッターの編集 をクリック
- ページの下部-X/Y から 好きな 場所(左側、真ん中など)を選択する X/Y を選ぶと



1/6、2/6・・・・ 6/6 のように全 体の中の何ペー ジめかが表示さ れます Xのみなら分母 は省略されます。

Xのみなら分母 は省略されます。 X/Yの前に 「Page」などの



文字を入力すると「Page 1/6」となります。

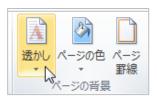
## ②ヘッダー

通常は社名などを全ページに入れます。社名を手入力してください。ロゴを社名の前にいれたりするとおしゃれです。

### ③すかし

ヘッダーと似ていますが、文章の裏側にマークなどを入れます。 未完成の文章が出回らないように編集途中の文書に「作成中」と か「暫定版」と言った文字を入れることができます。

- ページレイアウトーページの背景一透か しをクリック
- •「ユーザ設定の透かし」
- テキストーテキストの欄に 「作成中」と入力します。
- ・半透明にする、レイアウト
- ー対角線 などとしてOK。





また改ざんを防いだり装飾のために、背景に模様を入れてこともできます。

- 図一図の選択 で透かしに 使う画像を選択し、OK します
- 入ったマークの大きさが不 適当な時は、「倍率」で大きさ を調整します
- 前景の文字が見やすいように「にじみ」に図を入れて半透明にします。



### 2019/4/30 けやきコミセン ぱそこん倶楽部 学習会テキスト



● けやきコミュニティ協議会

年をみつめて

1日・・・これは、まだ1歳にもならない"けやき"に私が出会った日です。 でも忘れることのできない衝撃を受けました。それは、案内されたコミュニ 密開系であり、センター建設までの歴史のお話しでした。それから、19年

、、、、、、 けやき"のみなさんとおつきあいをいただき、たくさんの驚きと感動をいた いてきました。

関値からほどない頃に"けやき"のマンネリ化を懸念していたことも、おどろきでした。 緩の管理がきまく検護に無ってきていることを事ぶだけではなく、もう次の戦略が考えられていたわけです。そして実現したのが、開館から3年目の"おもしろ発見会議"でした。 次から次へとおもしろい企画が遅れんばかりに減ちていた1年間でした。サンマもおそばもコーヒーも、みん変美化りったけれど、野外ペインティングの巨大な終ができるかったときの感動は、いまも昨日のことのように思い出します。

5年目には『けやき並木に味く遊』の編集作業がありました。企画、数は、原稿の整理な と、ずいぶんと改選(まで作業をしたものです。ままぎまな編纂があり紆余曲折がありま したが、最初の1支が印刷屋さんから納品されたときのようこごはひとしおでした。属年 の記念誌といえば、10年目の『まちをつくる』では、運営委員のみなさんをはじめとして、 今くの方に"けやき"への思いを語っていただきました。おひとりおひとりの語りの中に、 熱くも添善な"けやき"への思いを語っていただきました。おひとりおひとりの語りの中に、

その後も、ときとき"けやきの曲がり角"といわれるのを閉いてきました。しかし、そのつと、初心をかえりみながら、つぎの一歩を踏みだしてきたように思います。いつもそこにあったのは、話しをすることだったのではないでしょうか。イベントで多くの人の出ると客演出することができたのも、"曲かり角"を乗りきって新しい一歩を踏みだすことができたのも、指版のところは"話しをすること"ができたからではないか・・・私は"けやき"の 20年をそんな展に見ています。

いまこの時代にあってというより、いまだからこそ、何よりも大切なことは、いろいろな 人と出会い、話しのできる場所が地域にあるということだと思っています。もう少し具体 的にいえば、自分とは違う人生経験をもつ人、自分とは違う価値観をもつ人と出会って、 での人の話を開き自分のことも話すことができるコミュニケーションの場所です。"けやき" がこれからも末水、、こういう場所であって欲しいと願っています。

Page 1 / 2